

Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 のリリースノート

初版：2019年4月29日

最終更新：2019年4月29日

Cisco Webex Meetings Server リリース ノート

これらのリリースノートは、Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 のすべてのバージョンの新機能、要件、制限、および問題を記載しています。これらのリリースノートはすべてのメンテナンスリリースに対して更新されますが、パッチやホットフィックスに対しては更新されません。別段の記載がない限り、各メンテナンスリリースには過去のリリースの機能、要件、制約およびバグ修正が含まれています。Cisco Webex Meetings Server を展開する前に、システムに影響を与える可能性がある問題について、このリリースノートを見直すことをお勧めします。

新しい顧客は Cisco Systems, Inc. またはパートナー セールス担当者から直接 Cisco Webex Meetings Server を購入することができます。

既存の顧客は、製品アップデート ツール (PUT) を使用して、リリース 4.0 OVA ファイル入手することができます。 <http://upgrad.cloudapps.cisco.com/upgrad/jsp/index.jsp>

本製品の最新ソフトウェア アップデートをダウンロードするには、次の URL にアクセスしてください: <http://software.cisco.com/download>.

[製品] > [電話会議] > [Web 会議] > [Webex Meetings Server] > [Webex Meetings Server 4.0] を選択します。

ドキュメントの場所

管理者用文書については、次の場所にアクセスしてください。 <http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/tsd-products-support-series-home.html>。

ユーザーに以下の URL を提供します。 <http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-user-guide-list.html>。

Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 の新機能

このセクションでは、本リリースでの新機能や変更について説明します。

システム要件の完全なリストについては、『Cisco Webex Meetings Server プランニング ガイド およびシステム要件リリース 4.0』を参照してください。詳細についてはhttp://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod_installation_guides_list.html、

Mac 版 64 ビット アプリケーションのサポート

Apple は、32 ビット アプリケーションのサポート終了を発表しました。macOS High Sierra が 32 ビットアーキテクチャをサポートする最後の macOS リリースになります。Webex Meetings デスクトップ アプリケーションは 64 ビット アプリケーションです。

モバイル用アバターのサポート

モバイルユーザーは、Webex Meetings デスクトップ アプリケーションおよびモバイル アプリで使用するために、アバター (画像) をサイトにアップロードすることができます。

画像は次の条件を満たす必要があります。

- サポートされているファイル形式: PNG、JPG、JPEG、GIF
アニメーション Gif はサポートされていますが、システムはそれらを静止画像に変換し、最初のフレームをアバター画像として使用します。
- 最小画像サイズ: 160 x 160 ピクセル
- 最大画像サイズ: 5MB

この機能を使用するには、リモート記憶域がインストールされている必要があります。システムは/db/archive/avatars/ の管理サーバーにアバターを保存します。



(注) マルチデータセンターシステムは、1つのデータセンターから他のデータセンターへアバター画像を複製します。

対応ブラウザ

このリリースは次のブラウザバージョンをサポートします。

Windows:

- Google Chrome : 65、66、67、68、69、70、71、72、73、および74
- Microsoft Edge (Windows 10 のみ): 42.17134.1.0 および 44.17763.1.0
- Microsoft Internet Explorer (IE): 11
- Mozilla Firefox : 59、60、61、62、63、64、65 および 66

Mac:

- Apple Safari: 12.0.1 (14606.2.104.1.1) および 12.1
- Google Chrome : 65、66、67、68、69、70、71、72、73、および74

- Mozilla Firefox : 59、60、61、62、63、64、65 および 66

Cisco Jabber Support

このリリースは、Cisco Jabber リリース 12.1.0、12.1.1、12.5.0、および 12.6.0 をサポートしています。

発信者 ID の表示

コールインユーザーについては、[参加者] パネルで発信者 ID の表示を有効または無効にすることができます。この機能をオンまたはオフにするには、Webex 管理にサインインして、[設定]に移動します。 >[ミーティング]に進みます > ミーティングの設定を選択します。デフォルトでは、この機能は無効です

この機能が無効になっている場合、コールインユーザーの ID が次のように表示されます。

Call-in User_#. 例:

- コールイン (User_1)
- コールイン (User_2)
- コールイン (User_3)

この機能が有効になっている場合、コールインユーザーの ID が次のように表示されます。

Call-In User_# (<caller ID>). 例:

- Call-in User_1 (Giacomo Edwards +865516611****)
- Call-in User_2 (WIRELESS CALLER +1650400****)
- Call-in User_3 (MARC BROWN +1917929****)



(注) プライバシー上の理由により、最後の4桁はアスタリスクによってマスクされます。ディスプレイには、最大で 63 文字まで入力できます。

マルチデータセンターの拡張容量

Cisco Webex Meetings Server サーバーは、以下のシナリオで完全に機能する 4000 ポート システムをサポートしています。

- VMware V-Center 6.5 を使用した高可用性 (HA) のシングル データ センター
- マルチデータセンター (MDC)—VMware V-Center 6.5 を使用したデュアルデータセンター (DDC)

拡張容量と MDC 機能の両方をリリース 3.0 で利用できますが、同時にはサポートされません。このリリースでは、MDC を作成するために、2 つの巨大 (4000 ポート) システムのサポートが追加されています。すでに大きな MDC システムが存在する場合、両方のシステムを拡張して、さらに巨大な MDC システムを作成することができます。

拡張容量機能を利用するには、各システムにライセンスが必要です。拡張容量ライセンスは、大規模 (2000 ポート) システムでのみ利用できます。

Mac OS サポート

このリリースは次の macOS バージョンをサポートします。

- Sierra 10.12.6
- High Sierra 10.13.6
- Mojave 10.14.1
- Mojave 10.14.2
- Mojave 10.14.3
- Mojave 10.14.4

モダン ビュー

ユーザーが Webex サイトにサインインすると、クラシック ビューおよびモダン ビューのいずれかを選択することができます。モダン ビューでは、新しいダッシュボードから、最も一般的に使用されるサイト コントロールに直接アクセスできます。ユーザーは簡単に Webex パーソナル会議室のミーティングを開始したり、開催予定のミーティングに参加したり、新規のミーティングをスケジュールリングしたりすることができます。

モダン ビューでは、ダッシュボードがホームページとなります。左のナビゲーションバーを選択することにより、ユーザーはいつでもビューに戻すことができます。デフォルトではモダン ビューが表示されますが、Webex サイトにデフォルトで表示されるビューを変更できます。

パーソナルミーティングルーム

Webex パーソナル会議室は、常に利用可能な仮想会議スペースです。パーソナル会議室の URL とコールイン番号は同じままです。ユーザーは自分のパーソナル会議室の基本設定を行い、インスタントミーティングを開始し、リンクを共有してすぐにミーティングを開始することができます。

スマート ライセンス

このリリースでは、ライセンス管理のあらゆる面を簡素化するスマート ソフトウェア ライセンスが導入されています。スマート ソフトウェア ライセンスのメリットについての詳細は、次のリソースを参照してください。

FAQ:<https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/software/smart-accounts/q-and-a-c67-741561.pdf>

一目で確認できます。 <https://www.cisco.com/c/dam/en/us/products/collateral/ssl-aag.pdf>

『Cisco Webex Meetings Server の管理ガイド』の「ライセンス管理」

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-installation-guides-list.html>

Webex Meetings デスクトップアプリケーション

Webex Meetings デスクトップアプリケーションが Webex Meeting アプリケーションと生産性向上ツールに置換されます。Webex Meetings デスクトップアプリケーションでは、新しいビデオ機能が追加され、パーソナル会議室をサポートしています。

Cisco Webex Meetings Server は、Windows および Mac 向けの Webex Meetings デスクトップアプリケーションバージョン 39.3.0.582 をサポートします。



注目 Mac 版 Microsoft Outlook からミーティングをスケジュールして編集することはサポートされていません。回避策として、ユーザーは Webex サイトからミーティングをスケジュール、編集、および開始することができます。

表 1: Webex Meetings デスクトップアプリケーションのビデオ機能

機能	説明
ビデオサムネイル	参加者がビデオサムネイルと共に一覧表示されます。
フルスクリーン共有ビュー中の自分のビデオの表示	フルスクリーンビューで共有が行われている間、メインのビデオビュー上に自分のビデオを写し出します。自分のビデオウィンドウからのビデオの送信を開始または停止します。
最大 720p までの HD 解像度	ビデオ解像度は最大で 720p (1280x720) まで対応します。
ビデオの固定表示	プレゼンタは、全参加者に対しビデオが表示される対象を決定することができます。
HD ビデオのコーデックの負荷を GPU に渡す	対応型 GPU チップセットがデコード処理の負荷からメイン CPU を開放します。
フルスクリーンビデオビュー	HD 画質または高画質でのフルスクリーンのビデオビュー (モニターサイズによる) および 5 個のビデオサムネイル
拡大フルスクリーンのビデオビュー	アクティブスピーカーが HD ビデオ画質で画面いっぱいに表示されます。
カメラのホットプラグイン	出席者はミーティング中にウェブカメラを接続したり切り替えることができる。
ビデオの自動調整	参加者のビデオ画質がネットワークの利用可能な帯域幅に合わせて自動調整されます。
フルスクリーン共有ビューでアクティブスピーカーの表示	フルスクリーンでの共有ビュー中にアクティブスピーカーを前面表示にします。
発言中の参加者の切り替え	声のボリュームが最も大きい発言者がビデオに表示されるように自動的に切り替えられます。

Webex Meetings デスクトップ アプリケーションの更新は、パッチ、メンテナンス リリース、およびホットフィックスの形式で提供される場合があります。



注目 ユーザーがクラウドベースの Webex サイトにも接続している場合、これらのサイトから Webex Meetings デスクトップ アプリケーションを更新することができます。更新されたバージョンは、Cisco Webex Meetings Server で動作します。ユーザーが接続するサイトによって、利用可能な機能セットが決定します。

Webex ネットワーク録画プレーヤー

このリリースは次の Cisco Network Recording Player バージョンをサポートします。

- **Windows:** 39.3.0.582
- **Mac:** 39.3.0.582

サポートされているアップグレードパス

Cisco Webex Meetings Server のこのリリースは、リリース 1.5 から 3.0 へのアップグレードをサポートします。次のポイントが適用されます。

- アップグレードは、システムに作成した主な変更を展開するためのシステムの置換として定義されます。
- アップデートとは、システムを段階的に改善することと定義されます。アップデートでは、修正と小さい改善を展開します。
- アップデートでは、オリジナルシステムのすべてのデータが保持されます。アップグレードでは、ログを除く、オリジナルシステムのすべてのデータが保持されます。
- アップグレード中、ソフトウェアのメジャーバージョンをスキップできません。また、コンパニオンメンテナンスリリースへ直接移動します。

たとえば、1.5MR5 から 3.0MR へアップグレードするには、1.5MR5 から 3.0 へアップグレードしてから、3.0MR へアップデートします。



(注) すべてのアップデートでダウンタイムが必要となります。マルチデータセンターでは、両方のデータセンターを同時にアップデートします。



注意 他方の更新が完了し、両方が再起動ボタンを表示するまで、一方のデータセンターに対する再起動をクリックしないでください。

次の表を使用して、Cisco Webex Meetings Server Release 4.0 へのアップグレードパスを決定します。

インストールされたリリース	リリース4.0 へのパス
1.5 から 1.5MR4	<ol style="list-style-type: none"> 1.5MR5 へのアップデート 1.5 MR5 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 2.8 へのアップグレード 2.8MR1 へのアップデート 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4.0 へのアップグレード
1.5 MR5	<ol style="list-style-type: none"> 1.5 MR5 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 2.8 へのアップグレード 2.8MR1 へのアップデート 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4.0 へのアップグレード
1.5 MR5 パッチ 2 以降にアップデートしてください。	<ol style="list-style-type: none"> 2.8 へのアップグレード 2.8MR1 へのアップデート 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4.0 へのアップグレード
2.0 から 2.0MR8	<ol style="list-style-type: none"> 2.0MR9 へのアップデート 2.8 へのアップデート 2.8MR1 へのアップデート 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4.0 へのアップグレード
2.0MR9 以降	<ol style="list-style-type: none"> 2.8 へのアップデート 2.8MR1 へのアップデート 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4.0 へのアップグレード

インストールされたリリース	リリース4.0へのパス
2.5 から 2.5MR5	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2.5MR6 へのアップデート 2. 2.8 へのアップデート 3. 2.8MR1 へのアップデート 4. 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 5. 4.0 へのアップグレード
2.5MR6 以降	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2.8 へのアップデート 2. 2.8MR1 へのアップデート 3. 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4. 4.0 へのアップグレード
2.6 から 2.6MR2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2.6MR3 へのアップデート 2. 2.8 へのアップデート 3. 2.8MR1 へのアップデート 4. 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 5. 4.0 へのアップグレード
2.6MR3 以降	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2.8 へのアップデート 2. 2.8MR1 へのアップデート 3. 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4. 4.0 へのアップグレード
2.7 または 2.7MR	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2.8 へのアップデート 2. 2.8MR1 へのアップデート 3. 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 4. 4.0 へのアップグレード
2.8	<ol style="list-style-type: none"> 1. 2.8MR1 へのアップデート 2. 2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。 3. 4.0 へのアップグレード

インストールされたりリリース	リリース4.0 へのパス
2.8 MR1 パッチ 2 以降にアップデートしてください。	4.0 へのアップグレード
3.0 または 3.0MR	4.0 へのアップデート



重要

アップグレード中またはアップデート中に、システムの音声暗号化タイプ (音声暗号化は -AE/音声非暗号化は -AU) を変更することはできません。展開後に、システムの音声暗号化タイプを変更するための唯一の方法は、システムを新規に展開することです。

詳細については、以下の文書を参照してください。

- *Cisco Webex Meetings Server* リリース 4.0 の管理ガイド: http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod_installation_guides_list.html
- *Cisco Webex Meetings Server* リリース 4.0 のプランニング ガイドとシステム要件: <http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-installation-and-configuration-guides-list.html>

高可用性システムの更新

既存の高可用性 (HA) システムがすでに取り付けられているシステムの場合、プライマリシステムをアップデートすると、HA システムは自動的にアップデートします。アップデートプロセスを開始する前に、すべての HA 仮想マシンがオンになっていて動作していることを確かめてください。

プライマリシステムに高可用性 (HA) システムを追加する場合には、まず HA システムを展開してください。それから HA システムをプライマリシステムと同じバージョンまでアップデートしてください。アップデートプロセスの最後に、HA システムは再起動します。HA システムをプライマリシステムに追加する作業を開始する前に、再起動してから 15 分待つことを推奨します。

詳細については、ご使用中のリリースの『*Cisco Webex Meetings Server* 管理ガイド リリース』を参照してください:

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/conferencing/webex-meetings-server/products-installation-guides-list.html>

制限と制約

音声のみのミーティング

次の状況では、ミーティングは最大 24 時間のミーティングをさらに延長できます。

- 通常の Webex ミーティングのすべての出席者は、ダイヤルインです (音声のみ)。

- Web からミーティングに参加している出席者はいません。

この場合、1人の出席者が会議に参加している限り、ミーティングは継続されます。すべてのダイヤルイン出席者が会議から接続を解除した場合、ミーティングは開始時間から24時間以内に終了します。ミーティングがスケジュールされた終了時刻を過ぎた場合、ミーティングはすぐに終了します。



- (注) このシナリオは、ダイヤルイン参加者のみが参加する通常の Webex ミーティングにのみ適用されます。このシナリオはパーソナル会議番号 (PCN) ミーティング、または web 参加者が参加している通常の Webex ミーティングには適用されません。

インターネットリバースプロキシの削除

インターネットリバースプロキシ (IRP) ノードの削除プロセスの一部として、管理用仮想マシンが IRP サーバーに削除メッセージを送信します。このメッセージが IRP サーバーを削除するため、すべてのシステムに対する外部アクセスが削除されます。メッセージは平文として送信され、認証されていません。巧妙に作成された悪質なコードがこの動作を複製し、サービスが拒否される可能性があります。

IRP ノード上でのポート 64616 へのアクセスを管理用仮想マシンのみ制限することをお勧めします。

録画制限

1回あたりの最大録画サイズは 2.2 GB です (既存のシステム制限)。Multi-data Center の場合、すべてのデータセンターに対して使用できる十分なストレージ容量があることを確認してください。録画の最大数は、ストレージサーバーの容量によって決まります。以下の式を使用すれば、標準的な5年間に必要なストレージサーバサイズを予測できます。

1日に録画することが予想されるミーティングの時間数 * 1時間当たりの録画につき 50-100 MB * 5年間 * 1日につき 24時間 * 1年につき 365日

ユーザーごとのストレージの制限はありません。システムは録画をユーザーが削除するまで保存します。重要な録画が誤って削除されることを防止するため、録画の自動削除を有効にする設定はありません。ストレージサーバーは、削除するようにマークされた録画を最大6か月保存します。その期間中であればまだ、ユーザーは録画を他のメディアにアーカイブすることができます。

ストレージサーバーを構成し、[管理ダッシュボード] の下の [録画] をチェックすると > 設定 > [ミーティング] に進みます > 参加者権限、[録画] 設定はシステム全体の設定になります。録画に対して個別のミーティングやユーザー設定はありません。また、ユーザーに指定したセッションタイプ別に録画を有効または無効にすることもできます。

セッションタイプ

セッションタイプはサイト管理者がカスタマイズしてユーザーに割り当てることができる機能およびオプション (プロファイル) の定義済みバンドルです。デフォルトのセッション (ミー

ティング) タイプはPROセッションタイプです。PROセッションタイプとカスタムセッションタイプの関係が原因で、PROセッションタイプは変更しないことをお勧めします。最良の方法はカスタムセッションタイプを作成して変更することです。

SSO および電子メールアドレスの変更

このリリースでは、ID プロバイダ (IdP) サーバーは任意の一意で静的な Active Directory (AD) フィールドを SSO 構成用の NameID として使用することができます。メールアドレスの変更機能を使用する予定であれば、AD のメールフィールドは静的にできません。IdP サーバーで、NameID フィールドのマッピングを、メール以外の一意な AD フィールドに変更してください。メールアドレスの変更機能を使用しない予定であれば、NameID フィールドのマッピングを変更する必要はありません。



注意 NameID を AD のメールフィールドにマッピングしていて、ユーザーのメールアドレスを変更すると、システムは、変更されたアドレスごとに新しいユーザーアカウントを作成します。

NameID フィールドマッピングをメールから別のフィールド (EmployeeNumber など) に変更する予定がある場合、ユーザーは変更の準備をする必要があります。AD の NameID フィールドを更新した後、メールアドレスを変更する前に、ユーザーは CWMS にログインする必要があります。それ以外の場合、NameID とメールアドレスの両方が変更されると、CWMS プロファイルに一致する属性はありません。このシナリオでは、既存のプロファイルがシステムにログインする機能を失い、システムが新しいプロファイルを作成します。

Outlook は Exchange サーバーと1日に1回同期します。Exchange サーバー上の既存ユーザーの電子メールアドレスを変更しても、その変更は即座に Outlook に伝播されません。同期が行われるまで、システムはユーザーの以前の電子メールアドレスを受信し、ユーザーが見つからないという通知を発行します。Outlook が Exchange サーバーと同期するまで、代理 (プロキシ) ユーザーはユーザーのためにミーティングをスケジュールしたり、代替ホストとしてユーザーを特定することができません。

システムを手動で同期することではこの問題を解決できません。この制限は CWMS の問題ではなく、Outlook および Exchange の設計の結果です。

SSO の設定について (15 ページ) も参照してください。

Microsoft Edge ブラウザ

Microsoft Edge ブラウザは Webex 録画の再生をサポートしていません。

vCenter 6.5 サポート

VCenter 6.5 で CWMS OVA ファイルを展開するには、以下の制限が適用されます。

- ブラウザの制限と CWMS OVA ファイルサイズが 16 GB のため、ローカルファイルのアップロードではなく、URL を使用して OVA ファイルを展開する必要があります。

- VCenter FLASH ベースのクライアントを選択します。この選択は、VM 構成の vApp プロパティを正しく入力するために必要です。ホスト名、ドメイン、IP アドレス、サブネットおよび DNS の構成。

仮想デスクトップインフラストラクチャ

次の制限は仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) 環境に影響を与えることが知られています。

- Cisco Webex Meetings Server の本リリースでサポートするデスクトップ仮想化ソフトウェアは、Citrix Virtual Apps および Desktops のみです。
- 仮想デスクトップ環境の構造的な制限はビデオの品質に影響を与える場合があります。ビデオを送信するときに、フレームレートが低くなり、品質が低下する場合があります。
- 仮想デスクトップ環境ではビデオファイルの一部は共有できません。
- Remote Access と Access Anywhere は仮想デスクトップ環境ではサポートされていません。基盤となる Citrix プラットフォームはオペレーティングシステムの再起動後、Remote Access、Access Anywhere エージェントを削除します。

Webex Meetings デスクトップアプリケーション

Webex Meetings デスクトップアプリケーションには、次の制限があります。ユーザーは次の操作を実行できません。

- ミーティングを毎年スケジュールする。
- ビデオアドレスを使用してミーティングに参加する。
- Webex Meetings デスクトップアプリケーションからパーソナル会議室のミーティングをスケジュールまたは参加する。
- Microsoft Outlook からパーソナル会議室のミーティングをスケジュールする。
- ビデオデバイスからミーティングに接続して参加する。
- クラウド登録されているビデオデバイスに接続して共有する。
- Webex Share デバイスに接続して共有する。
- ミーティング中にビデオデバイスへのコールバックを受信する (ビデオシステムにコールバック)。
- Microsoft Word、PowerPoint、または Excel からミーティングを開始または参加する。



注目 Mac 版 Microsoft Outlook からミーティングをスケジュールして編集することはサポートされていません。回避策として、ユーザーは Webex サイトからミーティングをスケジュール、編集、および開始することができます。

アップグレードの注意事項

Webex Meetings デスクトップアプリケーションは、旧バージョンの Cisco Webex Meetings Server との下位互換性がありません。

システムを CWMS 4.0 にアップグレードした後、アプリケーションをエンドユーザーにプッシュするか、または自分でダウンロードすることを許可するか選択することができます。

Webex Meetings デスクトップアプリケーションをユーザーにプッシュする場合、既存の資格情報を使用してアプリケーションにサインインする必要があります。これは、以前に Webex 生産性向上ツールに [自分を記憶する] および [自動サインイン] オプションを選択した場合にも当てはまります。

ユーザーがアプリケーションをダウンロードしてインストールすることを許可している場合、Microsoft Windows ユーザーはまず Webex 生産性向上ツールをアンインストールする必要があります。

許可されている場合、一部のユーザーは Webex 生産性向上ツールを使用し続けることが可能です。これらのユーザーは、**[ミーティングの開始]** ボタンをクリックしてインスタント ミーティングを開始することができません。この問題を修正するための修正プログラムが提供されています。

重要な注記

ハイパーバイザーサポート

Cisco Webex Meetings Server は VMware 仮想マシンで実行されます。

- Cisco Webex Meetings Server を展開するには、VMware vSphere と VMware vCenter の両方が必要です。ユーザーは vSphere クライアントを使用して、vCenter によって管理される ESXi ホスト上に Cisco Webex Meetings Server OVA ファイルを展開します。
- Cisco Webex Meetings Server 用のハイパーバイザプラットフォームとして使用するために、VMware vSphere 5.5、6.0、6.5 を購入してください。
 - Cisco の GPL (グローバル価格リスト) から直接 vSphere を購入してください。Cisco は VMware 公認のパートナーおよびディストリビュータです。これは1つのベンダーから全てを購入したい方には便利です。
 - VMware との直接法人契約を通じて、vSphere を VMware から直接購入してください。
- Cisco Webex Meetings Server はその他のハイパーバイザをサポートしていません。
- ハイパーバイザの要件に関する詳細は、『Cisco Webex Meeting Server のプランニング ガイドとシステム要件 (http://www.cisco.com/en/US/products/ps12732/prod_installation_guides_list.html)』を参照してください。

自己署名証明書の使用について

提供されている自己署名証明書の代わりに、パブリック署名証明書を使用することを強く推奨します。ユーザーのブラウザは、信頼を確立したコンピュータにルート認証局の証明書のリストがインストールされているため、パブリック署名の証明書を信頼します。

自己署名証明書を使用する Multi-Data Center (MDC) システムの場合、ユーザーは複数の証明書警告を受け取るので、システムを使用するにはすべての証明書を信頼し、インストールする必要があります。

自己署名証明書を使用すると、ブラウザはデフォルトでそのような証明書は信頼しないため、一部のユーザーはミーティングに参加することが困難になる場合があります。この場合は、サイト上のミーティングへの参加に移る前に、ユーザーは明示的に信頼を確立する必要があります。一部のユーザーはそのような証明書で信頼を確立する方法を理解していない場合があります。他のユーザーは管理設定によって阻まれる可能性があります。可能な限りパブリック署名証明書を使用して、最良のユーザーエクスペリエンスを提供してください。

『ユーザーガイド』は、ユーザー向けに、この問題に関する詳細を記載しています。「「ミーティングクライアントがロードされない」というトピック(「トラブルシューティング」の章、『Cisco Webex Meetings Server ユーザーガイド』)を参照してください。これは http://www.cisco.com/en/us/products/ps12732/products_user_guide_list.html にあります。

サポートされている暗号

Cisco Webex Meetings Server は、以下の暗号をサポートしています。

TLS Version 1.1

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (secp256r1)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (rsa 2048)

TLS Version 1.2

- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (secp256r1)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256 (secp256r1)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256 (secp256r1)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA384 (secp256r1)
- TLS_ECDHE_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384 (secp256r1)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA (rsa 2048)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_CBC_SHA256 (rsa 2048)
- TLS_RSA_WITH_AES_128_GCM_SHA256 (rsa 2048)
- TLS_RSA_WITH_AES_256_CBC_SHA256 (rsa 2048)
- TLS_RSA_WITH_AES_256_GCM_SHA384 (rsa 2048)

TLS サポート

このリリースでは TLS 1.1 以降をサポートしていません。次の 1 つの例外を除いて、TLS 1.0 はサポートしません。TLS 1.0 を使用して、Cisco Webex Meetings Server (CWMS) から SMTP サーバーへのクライアント接続はサポートされます。

このリリースでは、TLS/SRTP を持たない Cisco Unified Call Manager (CUCM) 8.6 または 9.0、および安全な電話会議のために CUCM 9.1、10.0、10.5、11.0 (1a)、11.5 (1) SU1、11.5 (1) Su3、および 12.0 をサポートしています。

SSO の設定について

このリリースでは、一意の Active Directory (AD) フィールドを SSO 設定のための NameID として使用することをサポートしています。SSO 設定のための NameID では、以下の AD 属性を使用することをお勧めします:

- メール
- SAMAccountName
- UserPrincipalName (UPN)
- TelephoneNumber
- EmployeeNumber
- ObjectSid

必須の SAML アサーション属性

アカウント自動作成機能を使用するには、以下の SAML アサーション属性が必要です。

- lastname
- firstname
- メール



重要 メール属性は、SSO 設定でアカウント自動作成とアカウント自動更新が無効にされている場合も含めて、常に必要です。

システムの拡張

既存の(拡張前)システムに VMware スナップショットがある場合は、拡張を開始する前に削除してください。

システムの拡張には、元のシステムからターゲット(拡張)システムへの仮想マシン ディスク (VMDK) 接続が必要です。元のシステムにスナップショットを残し、それをターゲットシステムに添付すると、スナップショットの不一致が原因でターゲットシステムの電源が入らなくなります。

SNMP v2 コミュニティ名

Cisco Webex Meetings Server のこのリリースには、デフォルトの SNMP v2 コミュニティ名エントリがありません。既存の Cisco Webex Meetings Server 1.0 のデフォルト コミュニティ名である「CWS-Public」は、アップグレード後に削除されます。ユーザーによって追加された SNMP v2 コミュニティ名のみが維持されます。

翻訳されたドキュメント

本リリースの Cisco Webex Meetings Server の翻訳されたドキュメントは、英語版のリリース後 4～6 週間後に公開されます。

既知の問題と通知

Apple iOS 6.x と SSO

Apple iOS 6.x には既知の問題があります。Safari 6 ウェブブラウザを使用している iPad/iPhone の内部ユーザーでは、シングルサインオン (SSO) が機能しません。iOS 7 で修正された Apple の欠陥によってこの問題が発生しました。Safari バグ ID は 13484525 です。

音声の設定

この音声設定では、G.711 は G.729 よりも良い音質になるので注意してください。詳細は、「『Cisco Webex Meetings Server 管理ガイド』」の「音声設定の構成について」を参照してください。

Windows では .mp4 ビデオ形式を共有できません

QuickTime を使用するとき、次のメッセージが表示されます。「QuickTime が初期化に失敗しました。エラー番号-2093。QuickTime がコンピュータ上に正しくインストールされているか確認してください。」

このエラーメッセージは、QuickTime.qts ファイルが存在しない、移動した、または利用できないことを示しています。QuickTime.qts ファイルは \WINDOWS\SYSTEM ディレクトリにあります。この問題を解決するには、QuickTime を完全にアンインストールしてから、再インストールしてください。

1. QuickTime Playerの最新バージョンをダウンロードします<http://www.apple.com/quicktime/download/>。
2. プログラムの追加または削除コントロールパネルを使用して QuickTime をアンインストールします。必ず、すべてをアンインストールを選択してください。
3. Temp フォルダ、C:\WINDOWS\TEMP の内容を削除します（存在する場合）。
4. ダウンロードした QuickTime のバージョンを使用して、QuickTime をインストールします。
5. Windows を再起動します。

ダッシュボードの問題 – すでに開始したミーティングを表示することができない

Cisco Webex Meetings Server の今回のリリースでは、すでに開始されている特定のミーティングがダッシュボードに表示されません。この問題は次のシナリオで発生します:

主催者より先に電話会議に参加することを許可する設定を有効にしてミーティングをスケジュールします。ある参加者が電話でミーティングに参加しますが、ウェブの部分には参加しません。ダッシュボードは、このミーティングが開始されており、1名の参加者がいることを表示するべきですが、そのことを表示しません。このため、ユーザーが複数のミーティングをスケジュールすることがあり、これはパフォーマンス上の問題につながります。

進行中ミーティングへのダイヤルイン、ダイヤルアウト接続

ミーティングが1つのデータセンターから別のデータセンターにフェイルオーバーするとき、ミーティングへの着信と発信接続は自動的に再接続されません。接続を再確立するには、参加者は電話を切り、手動でダイヤルインします。

この問題は、次の場合に発生します。

- インストールしたシステムが大規模な MDC です。
- データセンターの1つがメンテナンスモードであるか、電源がオフになっている間にミーティングが開始されました。
- メンテナンスモードがオフになった後、またはデータセンターの電源がオンになったときに、別のデータセンターがオフになるか、メンテナンスモードになります。

IP Communicator 7.0.x エンドポイント

CWMS ミーティングをつなぐ IP Communicator 7.0.x エンドポイントにより、次の条件が発生したとき、会議に音声品質の問題が発生する場合があります (エコーと他のノイズ)。

- IP Communicator がミュートされていない。
- IP Communicator を使用する参加者がアクティブスピーカーになる。

これを避けるためには、IP Communicator 環境 (例: ヘッドセット、マイク、スピーカー) を微調整するか、別の従来型の電話を使用してください。

仮想マシン IP アドレスを変更している間のホスト名の維持

展開で構成されるホスト名の DNS エントリを変更しないでください。展開の一部である仮想マシンのホスト名を変更できます。対応する IP アドレスは DNS から自動的にピックアップされます。仮想マシンの IP アドレスを変更し、同じホスト名を維持する場合、以下の手順を実行する必要があります。

1. DNS の一時ホスト名を設定します。
2. 仮想マシンのホスト名を、構成した一時ホスト名に変更します。
3. システムのメンテナンスモードを終了すると、新しいホスト名の変更が適用されます。

元のホスト名は、この変更を行った後は展開の一部でなくなります。

4. DNS の元のホスト名の IP アドレスを新しい IP アドレスに変更してください。
5. 仮想マシンの一時的ホスト名を元のホスト名に変更します。
6. システムのメンテナンスモードを終了すると、ホスト名の変更が適用されます。
元のホスト名は新しい IP アドレスで構成されています。

3.0 パッチ 1 からの更新に失敗しました

Cwms. .pub ファイルのデータに誤りがあるため、リリース 3.0 パッチ 1 (3.0.1.33) からの更新に失敗しました。3.0 パッチ 1 から更新する前に、この問題の次の回避策を適用します。

1. <https://bst.cloudapps.cisco.com/bugsearch/bug/CSCvj70890> に進みます。
2. 添付ファイルをダウンロードします。Fix_update。プライマリ管理 VM の /archive ディレクトリにコピーします。
3. SSH を使用してプライマリ管理 VM に接続し、/archive ディレクトリに移動します。
4. ファイルを解凍します: **fix_update.zip** を解凍します。
5. 解凍したファイルを実行可能にするには: **chmod +x fix_update**。
6. 実行可能ファイルを実行します。 **./fix_update**。
7. 成功のメッセージが表示されたら、更新を続行します。

補足説明

バグ検索ツールの使用

既知の問題（バグ）は、重要度レベルに従ってグレードが決まります。これらのリリースノートには、以下の説明が含まれます。

- 顧客から報告された重大度 1-3 の未解決バグ
- 顧客から報告された重大度 1-3 のバグを解決しました
- Cisco が発見した重要なバグを解決しました

一覧中のバグの詳細を確認したり、Cisco バグ検索ツールを使ってその他のバグを検索したりすることができます。

始める前に

バグ検索ツールにアクセスするには次の条件が必須です:

- インターネット接続
- ウェブ ブラウザー
- Cisco.com のユーザー名とパスワード

手順

ステップ 1 バグ検索ツールにアクセスするには、<https://tools.cisco.com/bugsearch/search>に移動します。

ステップ 2 Cisco.com のユーザー名とパスワードを使用してサインインします。

ステップ 3 検索フィールドでバグ ID 番号を入力し、**Enter** を押します。

ヒント また、検索しようとするバグの ID（例えば、CSCab12345）の<https://tools.cisco.com/bugsearch/bug/<BUGID>>場所<BUGID>を入力して、特定のバグに移動することもできます。

次のタスク

バグを検索する方法、保存した検索結果の作成、バググループの作成についての情報は、ヘルプ (バグ検索ツールページ) を選択します。

Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 で解決済みの問題

下記の表には、このリリースで解決されているバグが列挙されています。

表 2: Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 (Build 4.0.1.19) で解決されている問題

警告 ID	重要度	見出し
[CSCvp08700]	3	Win: 古い PT は新しい Webex アプリによってスケジュールされたミーティングを更新/削除できません。
[CSCvm99626]	4	2.8MR2 または 3.0MR2 への更新後に中間証明書が失われます

Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 での未解決の問題

下記の表には、このリリースで未解決のバグが列挙されています。

表 3: Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 (Build 4.0.1.19) で未解決の問題

警告 ID	重要度	見出し
[CSCvp34644]	2	共有中に T39 ミーティングがクラッシュします
[CSCvp30778]	3	デスクトップ アプリでエラーメッセージが表示されることなく Webex ミーティングを開始できませんでした
[CSCvo98359]	3	旧 PT: 4.0 サイトへのログイン時に、旧 PT からインスタント ミーティングを開始できませんでした。
[CSCvp32096]	3	出席者は録画の準備ができていることを通知するメールを受信できません

Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 で解決済みの問題

下記の表には、このリリースで発見され、解決された問題 (バグ) が列挙されています。

表 4: Cisco Webex Meetings Server リリース 4.0 (Build 4.0.1.19) で解決済みの問題

警告 ID	重要度	見出し
[CSCvj02258]	3	HA でシステムから 3.0 への自動アップグレードに失敗しました
[CSCvn47005]	3	カレンダーの週末の日数が間違っています
[CSCvn67024]	3	CUCM Publisher がダウンしているときに PT にログインできず、ディレクトリの統合が CUCM Sub に切り替えられません
[CSCvp16492]	3	SRTP エンドポイントからのコールが RTP エンドポイントに転送されたときに音声がありません
[CSCvo56983]	3	ユーザーが [管理] ページの [検索] ボックスに、または Web ミーティングのセットアップの [ユーザー] フィールドから入力できません
[CSCvp03915]	3	SNMP USM ユーザー パスワードに 「\$」 の記号を使用することができません
[CSCvn77979]	4	XX 日ごとにすべてのユーザーに強制的にパスワード変更を強制するオプションは LDAP ユーザーにも影響を与えません
[CSCvo51406]	4	コールバック番号が Edge ブラウザに表示されません
[CSCvo12211]	4	ミーティング検索結果の参加者数に正確な値が表示されません

追加情報とサービス要求

サービス要求の送信についての詳細と追加情報については、
<http://www.cisco.com/c/en/us/support/index.html> を参照してください。

また、Cisco Security RSS フィードにアクセスして、新規情報が入手可能なときに通知を受信することができます。コンテンツフィードは RSS フォーマットの 1.0 および 2.0 バージョンの両方で入手できます。詳細については <http://tools.cisco.com/security/center/rss.x?i=44>、

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

THE SPECIFICATIONS AND INFORMATION REGARDING THE PRODUCTS IN THIS MANUAL ARE SUBJECT TO CHANGE WITHOUT NOTICE. ALL STATEMENTS, INFORMATION, AND RECOMMENDATIONS IN THIS MANUAL ARE BELIEVED TO BE ACCURATE BUT ARE PRESENTED WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED. USERS MUST TAKE FULL RESPONSIBILITY FOR THEIR APPLICATION OF ANY PRODUCTS.

THE SOFTWARE LICENSE AND LIMITED WARRANTY FOR THE ACCOMPANYING PRODUCT ARE SET FORTH IN THE INFORMATION PACKET THAT SHIPPED WITH THE PRODUCT AND ARE INCORPORATED HEREIN BY THIS REFERENCE. IF YOU ARE UNABLE TO LOCATE THE SOFTWARE LICENSE OR LIMITED WARRANTY, CONTACT YOUR CISCO REPRESENTATIVE FOR A COPY.

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

NOTWITHSTANDING ANY OTHER WARRANTY HEREIN, ALL DOCUMENT FILES AND SOFTWARE OF THESE SUPPLIERS ARE PROVIDED "AS IS" WITH ALL FAULTS. CISCO AND THE ABOVE-NAMED SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, THOSE OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OR ARISING FROM A COURSE OF DEALING, USAGE, OR TRADE PRACTICE.

IN NO EVENT SHALL CISCO OR ITS SUPPLIERS BE LIABLE FOR ANY INDIRECT, SPECIAL, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, LOST PROFITS OR LOSS OR DAMAGE TO DATA ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THIS MANUAL, EVEN IF CISCO OR ITS SUPPLIERS HAVE BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

Any Internet Protocol (IP) addresses and phone numbers used in this document are not intended to be actual addresses and phone numbers. Any examples, command display output, network topology diagrams, and other figures included in the document are shown for illustrative purposes only. Any use of actual IP addresses or phone numbers in illustrative content is unintentional and coincidental.

All printed copies and duplicate soft copies of this document are considered uncontrolled. See the current online version for the latest version.

Cisco has more than 200 offices worldwide. Addresses and phone numbers are listed on the Cisco website at www.cisco.com/go/offices.

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2019 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.